

氏名	藤原 康宏
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第4875号
学位授与の日付	平成25年12月31日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Multicentred surgical site infection surveillance using partitioning analysis (パーティショニング分析を用いた多施設共同手術部位感染 (SSI) サーベイランス)
論文審査委員	教授 森松 博史 教授 草野 展周 准教授 田中 雅人

学位論文内容の要旨

手術部位感染 (Surgical Site Infection, 以下、「SSI」) は、世界各国の医療現場で直面している懸案事項の一つである。本邦においても、SSI に関するデータの継続的な集積並びに解析、そして解析結果の臨床現場へのフィードバックは、最重要課題の一つとして認識されている。本研究では、パーティショニング分析を用いたオペレーションズリサーチ (Operation's Research, 以下、「OR」) の手法を用いた SSI サーベイランスを、岡山大学病院を含む7施設 (せとうち SSI サーベイランスグループ, 以下、「SSSG」) の消化器外科及び一般外科等を対象に行った。施設ごとに SSI 関連因子のパーティショニング解析を行い、得られた結果を臨床現場へ迅速に提供し、情報に基づき各施設にて対応を行うことにより、SSI 発生頻度の減少が可能であるかを検証することを目的として計画された。なお、本研究は、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科疫学研究倫理審査委員会 (疫学 133 番) にて承認された。

SSSG において、2006 年から 2008 年の期間、計 4 回の SSI サーベイランス (監視活動) を断続的に行った。1 回のサーベイランス活動は 3 カ月間とし、1 回のサーベイランス期間が終了しデータ集積及び解析を行った後、直ちに解析結果を各医療施設へ報告し、各施設において SSI に対する独自の改善活動を行った。SSI の定義は、研究開始当時から現時点まで世界的な標準と考えられている Centers for Disease Control and Prevention (アメリカ疾病予防局) の定義を全期間通じて用いた。4 回のサーベイランス期間において、3089 例の臨床データを匿名化した上で回収し、解析を行った。第 1 期の SSI 発現頻度は 6.9% であり、第 2 期及び第 3 期は、それぞれ 6.3% 及び 6.4% であったが、第 4 期には 3.9% まで減少した。第 1 期目と第 4 期目を比較したところ、 $p=0.012$ であり、統計的有意水準と定めていた $p<0.05$ を下回る結果となった。以上から、今回の我々の研究である OR による新たな SSI サーベイランスへのアプローチは、今後の SSI サーベイランスにおいても非常に有意義な提案であると考えている。

論文審査結果の要旨

本研究は岡山大学関連病院 7 病院における手術部位感染のサーベイランスを行うとともに、ガイドラインに関する教育を行っている。サーベイランスの結果はパーティショニング解析を行い、それぞれの病院での対策目標を明確にしてフィードバックを行っている。2006 年から 2008 年の期間に経 4 回のサーベイランスを断続的に行っている。1 回のサーベイランス期間が終了しデータ集積および解析を行ったのち、直ちに解析結果を各医療施設へ報告し、各施設で独自の改善活動を行っている。合計 3089 例の臨床データを回収し、解析したところ、第一期の感染症発生頻度は 6.9% であり、第二期、第三期はそれぞれ 6.3%, 6.4% であった。第四期には感染率 3.9% まで減少している。今回の研究による新たなサーベイランスのアプローチは今後の多くの領域でのサーベイランスにおいても非常に有意義な提案となると結論づけている。手術部位感染症の減少および新しい解析手法の提案として有意義な研究であると認めるよって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。